



2016年9月10日

大阪水龍 様

拝啓

初秋の候、皆様におかれましては、お元気でお過ごしのことと存じ上げます。

また日頃より本会の活動にご理解、ご協力賜り、誠に有難うございます。

ご寄付いただきましたネパールの井戸（水道パイプライン）が完成いたしましたので、写真を添えてご報告させていただきます。

このたび、ご寄贈いただきましたボテシパ村の6と7ワードの村人全員がこの水道パイプラインの設置に非常に感謝しており、村の生活環境の改善に努めることが出来ました。この地域に水場が出来ることは村人の地震後の願いでした。この建設費用の為にご支援頂きました事は、村人にとって大きな喜びと共に、これからの励みになります。

ネパールは2015年4月に大地震が起き、その後の復興が思うように進んでいない現状が有りますが、人々は被災したその土地を耕し、田畑をつくり食べていかねばなりません。その生活の中で、今回の井戸寄贈は単に村の状況改善に貢献して頂いただけでなく、村人たちの復興に向けての関係強固のためのきっかけそしてこれから進んでいく村の光になっています。更には日本とネパールの架け橋となっています。

機会がございましたら是非一度ネパールをお訪ねください。村人たちはいつでも皆様を大歓迎です。

台風の季節です、夏の疲れが出やすい時期でもあります。体調崩されませぬようご自愛くださいませ。益々のご発展とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

最後に、もう一度 公益社団法人アジア協会アジア友の会、及び現地団体一同、深く御礼申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

敬具

公益社団法人 アジア協会アジア友の会

会 長 萩尾 千里

事務局 長 村上 公彦

海外プロジェクト委員長 大倉 達也

〒550-0002

大阪市西区江戸堀 1-2-14 肥後橋官報ビル 5F

TEL:06-6444-0587 / FAX:06-6444-0581

報告者 公益社団法人アジア協会アジア友の会  
ネパールプロジェクト担当 熱田 典子

大阪水龍 主催者 様 寄贈井戸

## 寄贈井戸完成報告

ネパール・バグワティ県シンドゥパルチョーク郡ボテシパ村 Word No.6,7 マテロ ダダ

MATHELLO DADA, Word No.6&7, Bhotsipa VDC, Sindhupalchock District,

Bagmati Zone, NEPAL

---

公益社団法人アジア協会アジア友の会

〒550-0002 大阪市西区江戸堀 1-2-14

肥後橋官報ビル 5 階

TEL (06) 6444-0587

FAX (06) 6444-0581

E-mail: [asia@jafs.or.jp](mailto:asia@jafs.or.jp)

ホームページ:[www.jafs.or.jp](http://www.jafs.or.jp)

寄贈者 大阪水龍 主催者様

- 完成年 2016年5月1日
- 現地提携団体 AFS Nepal (Asian Friendship Society Nepal)  
—ネパールアジア友の会—
- 寄贈場所 ネパール・バグワティ県シンドウパルチョーク郡ボテシパ村  
Word No.6&7 マテロ ダダ
- 受益者 約150人(35世帯)
- 井戸の形式 水道式 (貯水タンクよりの水道型水場)

●村の状況

ボテシパ村はカトマンズより75キロのところにある山地の村です。標高1,111.93mの山の頂上周辺に広がる村で、幹線道路とつながっていないために、交通網が発達していないために開発が遅れています。昨年度のネパール大地震でも大きな被害をうけ、現在が村人のほとんどが各自で建てた粗末な仮設住居で生活をおくっている状況が続いています。

ボテシパ村の全体の人口は、約5,000人、タマン族が半数を占め9割が農業を生業としています。今回、この水道パイプラインを設置したマテロダダは、6と7地区の両地区にまたがる地域で35世帯約150人の集落です。

この村は以前は良い水源があり、村の中でも比較的水の豊かな地域でした。しかしながら昨年の地震以後、水源のレベルが移動したと同時に水量が減少し、村人の暮らしは一変しました。

日々の飲料水と生活水を確保することもままならない状況となり、農業のために利用できる水は無くなり、野菜を育てることが出来なくなりました。自分たちで農作物を育てる以外得る方法がない為に、野菜の摂取が極端に減少し、湿疹やビタミン不足による症状が出てきました。

その改善のために、新たな水源地より水をひいて水を確保することの要請を受け、16000Lのタンクを設置して水源よりの水を集水し、そこから5本のパイプラインをひき、家屋集合エリア単位で水が汲める計画としました。

完成により、村人たちは地震以前に近い水の状況で生活をおくれるようになりましたが、地震による水源レベルの低下は水量も減少させ、一日6時間程度の使用時間を設けて調整をおこなっていますが、農作物を少しずつ栽培できるようになり、震災後初め

て村人全員に笑顔をもたらすことが出来ました。大阪水龍様のご支援により貯水タンクから集落までのパイプライン設置、共同の水場としての井戸を完成することが出来ました。

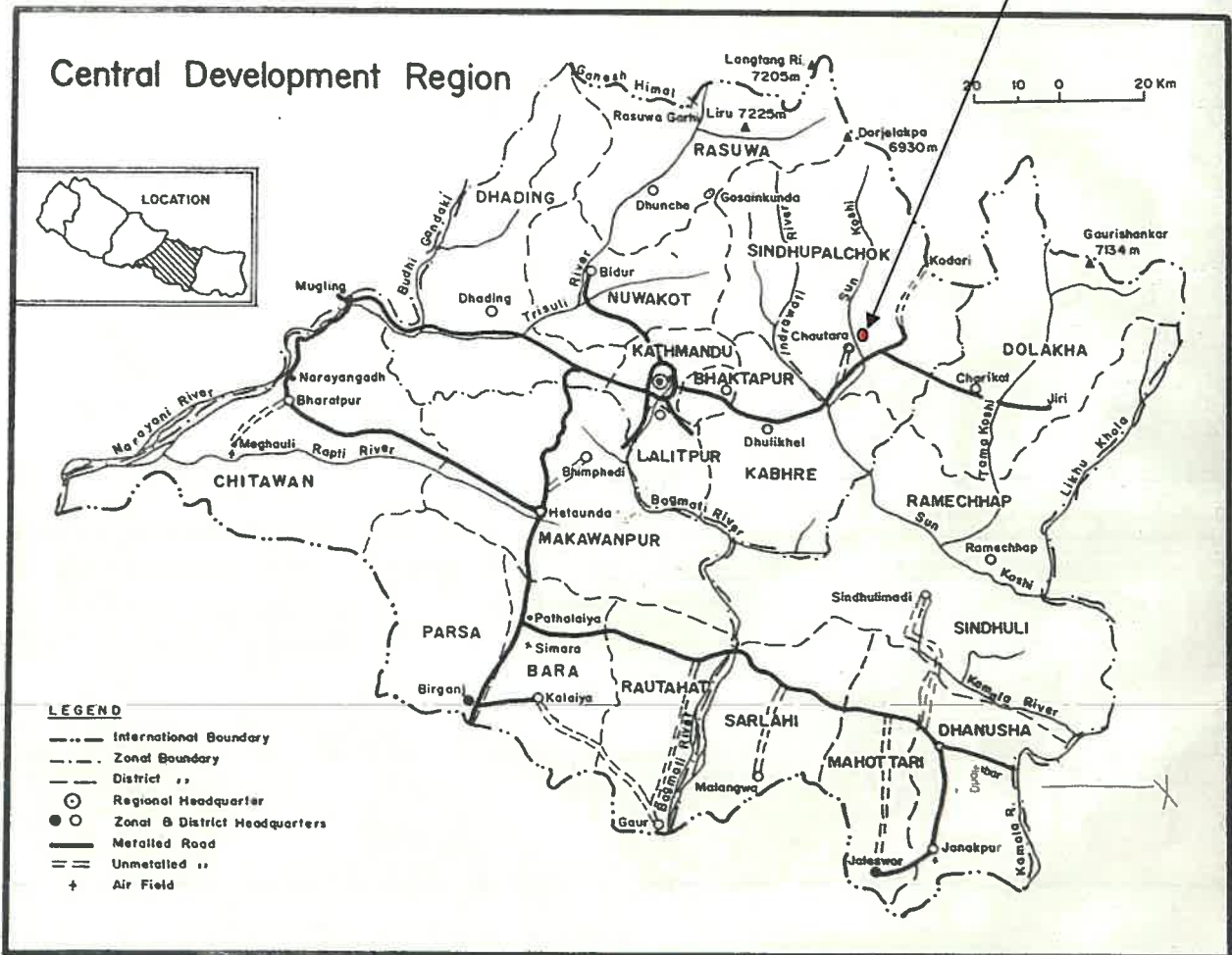
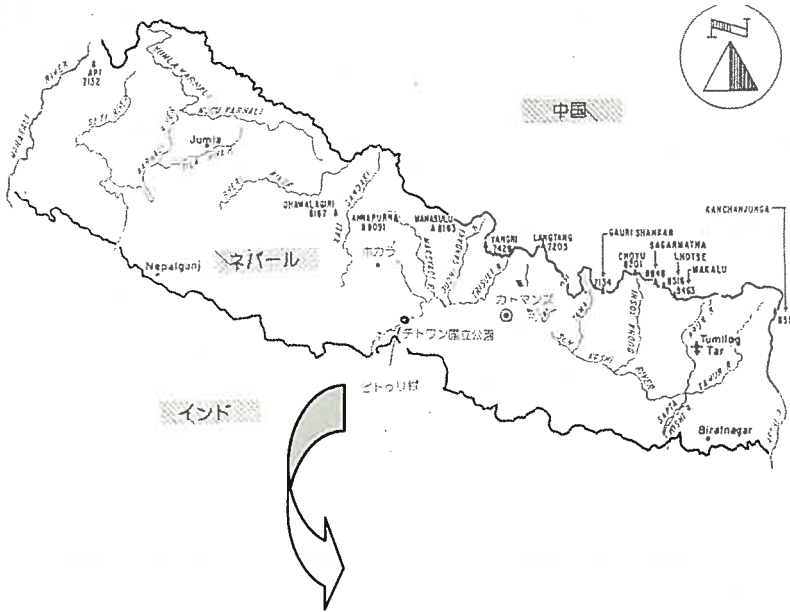
●感謝の言葉

大阪水龍様のご支援により、私たちが毎日水を得ることが出来る水場（井戸）が完成しました。このご支援に深く感謝しますと共に、村人全員大きな喜びを感じております。全員で大切に使用し、この水から更に良い地域にしていこうと思っています。

今回のご支援で、私たちのこの地域は地震後の困難から抜け出すことが出来ました。住宅再建などの課題も多くありますが、「水」は生活のベースを立て直すことに不可欠です。「水」がある事は、復興に向けて大きな力になります。これからも皆様のご厚情を励みに頑張っていきます。ネパールにお越しになる機会がございましたら、是非我々の村にお立ち寄りください。

本井戸管理組合、又、この事業をサポートすることが出来ました AFS Nepal（ネパールアジア友の会）よりもこの度のご支援に最後にもう一度心より感謝申し上げます。

● 地図



LEGEND

- International Boundary
- - - Zonal Boundary
- - - District
- Regional Headquarter
- Zonal & District Headquarters
- == Metalled Road
- - - Unmetalled
- + Air Field

SURESH MAHARJAN



NO.



NO.



NO.

NO.



NO.



水を保て  
 一早く立ち324  
 の植付けが、味  
 だに、喜ぶ  
 受益者

NO.



自家水ターフ